

令和7年度 神代中学校 技術科 1学年 年間指導計画・評価計画

1. 教科目標

- (1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換および情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする力を養う。

2. 評価の観点及びその趣旨

【知識・技能】

生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換および情報の技術についての基礎的な理解と技能、技術と生活や社会との関わりについて理解している。

【思考・判断・表現】

生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする力を身に付けている。

3. 1学年の目標

- ①材料と加工および生物育成に関わる基礎的な理解と技能を身に付ける。
- ②材料と加工および生物育成技術に込められた工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気づくことができる。
- ③主体的に課題を見つけ、新しい考え方やとらえ方によって解決策を構想しようとすることができる。

4. 指導計画・評価計画表

		観点・評価規準			評価資料
月	指導内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	・ガイダンス ・身の回りの技術。・技術の発達による変化。 ・技術の見方、考え方。(2時間)			・技術が生活を向上させ、産業の発展に影響を与えていることに気づき、技術が果たしている役割に関心を示している。	・授業に対する取り組み ・プリント
5	【生物育成の技術】(9時間) ・生物育成の技術とは ・栽培に必要な知識、栽培計画	・作物および動物、水産生物の育成技術や特徴について、科学的な原理法則を理解している。	・生物育成の技術に込められた工夫を読み取ることができる。 ・生物育成技術の見方・考え方に気づくことができる。	・進んで生物育成技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	・授業に対する取り組み ・プリント ・観察記録 ・栽培のまとめ ・定期テスト
6	・生物育成による問題解決(栽培実習)(4時間) ・種まき、間引き ・栽培実習のまとめ、改善	・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解している。	・生物育成技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を解決できる力が身に付いている。	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。	
7	・これからの生物育成技術	・安全適切な栽培ができる技能が身に付いている。		・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。	
8					
9	【材料と加工の技術】(24時間)	・材料の特徴や加工方法について、科学的な原理法則を理解している。	・材料と加工技術に込められた工夫を読み取ることができる。	・進んで材料と加工技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	・授業に対する取り組み ・プリント ・提出物 ・作品の完成 ・定期テスト
10	・材料と加工に関わる基礎的知識・技能の学習(3時間)				
11	・身近な問題の発見、製品の設計(4時間)	・設計法や製品の構造について基礎的な技術の仕組みを理解している。	・材料と加工技術の見方・考え方に気づくことができる。	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。	
12	・製品の製作(13時間)		・材料と加工技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を解決できる力が身に付いている。	・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。	
1	・製品のまとめ反省振り返り				
2					
3	・これからの材料と加工技術	・安全適切な製作作業ができる技能が身に付いている。			